



■平成29年6月12日～6月27日、6月会議が開催されました。

山本議員の一般質問を通じて、議会活動報告をいたします。
なお、委員会などのトピックスは、ホームページの「山本せいご議会だより」でご覧になれます。

山本せいごの一般質問（6月会議）

中学校給食の早期実現について

中学校給食に関するアンケート結果が公表され、実施に向け準備が進んでいるが、早期の実施に向け次の項目について問う。



質問1：給食実施までの、全体スケジュール計画は？

- 答弁：①今年2月に中学校給食の導入を目的とした住民アンケート調査を実施した。今年度は、調査に基づき基本構想を策定する予定。
- ②実施までのスケジュールは、小中学校の空調設備の整備完了後給食センターの建設に着手できるよう財源確保に努める。
- ③実施計画は平成31年度以降の実施としている。

質問2：現段階での予算規模と補助金申請などの財源確保の見通しは？

- 答弁：①具体的実施計画を策定し、十分精査した数値で国へ交付金の申請手続きをする。
- ②現時点では、他市町村の類似施設の数値を参考に財源確保に努めている。

質問3：財源として、黒字経営にある指定管理者武田病院に対する1億円の貸し付けをやめ、設計費などに回して1日も早い給食実施を提案するがいかか？

- 答弁：①提案内容を採用する考えはない。



質問4：住民アンケートの内容を、実施に向けどう活用するのか？

- 答弁：①昨年度実施の住民アンケート、23年度の学校給食アンケート調査、25年に定めた基本的事項のほか、先進事例などの調査分析を行ない学校給食の基本構想をまとめる。

質問5：施設の概要と調理能力等について

- 答弁：①場所は精華中改築の跡地、敷地1,450㎡、延べ床面積約800㎡を予定。(鉄骨2階建て)
- ②調理能力1500食(3校生徒数1200人弱)
- ③現在公表数字は6億8000万円であるが、資材の高騰などでもう少し必要と考える。

質問6：給食センターは、子育てや高齢者支援など地域への貢献が望まれている。

- 答弁：①給食センターは、防災機能強化を要請されている。今後、生徒数が減少していくので高齢化の対応など、施設の兼用性について考えていくべきと認識している。
- ②地産地消や活用の展開など考えていきたい。



(1) 中学校給食について、平成23年9月議会で全会一致で決議され、はや5年7か月が経過している。

いつも財政問題がネックと答弁されるが、住民サイドからは「行政側の対応が前向きでないのではないか」との声も上がっている。いろいろな事業の補助金を最大限活用して進めていただきたい。

(2) 給食センターについては、子育てや将来にわたって高齢者向けの配食サービスを可能にする施設が望まれている。検討していただきたい。

(3) 食材調達地の地産地消について、すでに提案している食教育と農業のドッキングで「農と学研都市の精華町」として研究していただきたい。

議会だより (つづき 1)

連節バス導入で祝園駅西側ロータリーの一般車両進入禁止

この秋、連節バス導入予定に伴う 祝園駅西側ロータリー改修に関して次の項目を問う

質問1: 駅前ロータリーからの一般車両の進入禁止計画は、住民サイドから反対の声を聴く、変更なく進めるのか？

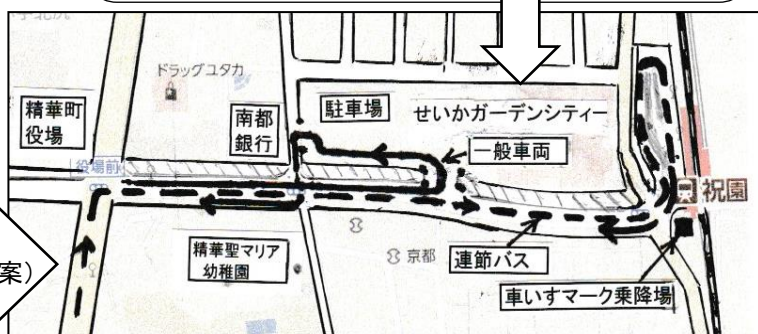
答弁: ①木津警察署や公安委員会と協議を重ねている。
②駅前交差点の右折信号で流れが改善をされたが、駅前ロータリー内で分離する結論までに至っていない。



車両分離経路(検討案)

質問2: 一般車両をガーデンシティの駐車場を利用して迂回させる計画をしている。
・駐車場利用者の利便性と安全をどう考えているか。
・南都銀行側の出入り口および交差点も非常に混雑し、危険である。

答弁: ①ガーデンシティの利用について、管理会社および地主組織に話をしている段階。
②安全対策については、木津警察署の意見をいただきながら整理をし、検討している。
③基本的には一般車両と公共交通の分離をする上でできるだけ安全というか、適切・適正な計画にしていく。



質問3: 障がい者などの乗降スペースを移動後、進出入時の車の流れをどう考えているか？

答弁: ①安全性や利便性から、東西連絡通路の階段の南側に「車いすマーク乗降場」を設置し、送迎車両は、府道八幡木津線からの出入りを想定している。

質問4: 祝園交番の駅前移転の予定地は確保できるのか。

答弁: ①かねてより京都府警に移転の要望をしているが、近々の課題とはなっていない。その時点で最善の場所を祝園交番用地として求める。

質問5: 安全確保や利便性の課題が多すぎる。一般車両と連節バスとの共存、スペースの共有を図るよう提案する。

答弁: ①基本的には、一般車と公共交通の分離をする上で、適正なものを計画する。

質問6: 連節バスの安全運転の担保と2000名以上の大量輸送をどう考えているか？

答弁: ①連節バスの回転半径約10m、バスと内輪差で45cm程度、試走し安全を認識した。
②連節バスは朝夕、当面2台。利用者が増えると連節バスと通常のバスの増便の形で対応する。



- (1) 導入ありきで安全・安全という感覚は、「余裕を持った安全が交通事故を起こさない担保」というのと認識が違う。通行者、自動車利用者、バスの乗降客、すべて安全ということを第一に考えていただきたい。
- (2) ガーデンシティ駐車場利用についてはまだ調整中とのこと、もう一度考え直して連節バスと一般車両の送迎が共存できるようなものを考えていただきたい。

山本せいご後援会事務所

精華町大字南稲八妻小字門口71

TEL/FAX

0774-94-3301

Eメール

seigo722@balloon.ne.jp

ホームページ

http://www.balloon.ne.jp/seigo722/

議会だより (つづき 2)

議員報酬の引き上げ額について

特別職報酬審議会で答申された議員報酬引き上げ額について町長の見解を問う。

質問1: 3月会議で町長提案された報酬額は、審議会より答申された額である。引き上げ額(一般議員47,000円増)が妥当と考えた結果、そのまま提案されたのか。

答弁: ①議会で作成した「議員報酬のあり方」を参考に、議会の主体性を尊重する立場で町長提案した。
②議会の提言書に違法性はないか、類似団体と著しい均衡を欠かないか、の確認にとどめた。
③町長の主観は排除し、客観的、形式的な確認にとどめそのまま提案した。



(議会模擬図)

質問2: 答申書では、「改定に伴う本町の財政負担に影響を及ぼす」とある。財源をどうするのか。

答弁: ①議会議員の段階的引き上げの措置があり、予算の補正ができる範囲と考えている。

質問3: 住民からは、財源が厳しい中、上げ幅が大きいとの声がある。町民の声をどう受け止めるのか。

答弁: ①説明責任は議会にある。対応が必要な場合は議会として主体的対応をお願いしたい。

<参考>

■議員報酬の改定が承認されました (単位円)

	28年度	改定額	増額	増額率%
議長	345,000	373,000	28,000	8.1
副議長	260,000	310,000	50,000	19.2
議員	240,000	287,000	47,000	19.6

■H29年5月からH30年3月まで段階的、半額増

29年5月改定額	増額	増額率%
359,000	14,000	4.1
285,000	25,000	9.6
263,500	23,500	9.8

■期末手当の増額を合わせ、総額 1306万円の増額となります。

議会の動き

■山本議員が会派を結成しました。
●会派名: せい風会 (山本清悟、青木 敏)

■議会の会派構成 (議員定数 18人)
●精華の会 9人 (民進党 1人を含む)
●共産党 3人
●公明党 2人
●せい風会 2人
●爽風会 2人

■3期目の山本議員の「住民目線での是々非々の行動」に期待しましょう!

■常任委員会の担当(平成29年・30年)
山本議員は次の常任委員会を担当します。

- 総務教育常任委員会・委員長
- 民生環境常任委員会・委員

- 共産党・勝島議員の死去に伴い、次点の繰り上げ当選となりました。
- 勝島議員のご冥福をお祈り申し上げます。

議会だより (つづき 3)

一般質問のその後について

過去の一般質問答弁の進捗状況を問う。

質問1: 小学校のクーラー設置の具体計画は?

答弁: ①実施設計業務は昨年度に完了し、現在は
財源確保に努めている。
②5つの小学校の空調設備の整備は、
平成30年度をめどに進めている。



質問2: 山手幹線南進と菅井・植田地区の都市計画は?

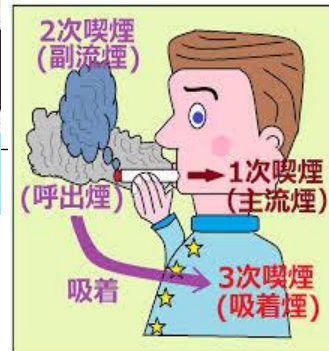
答弁: ①土地区画整理事業と合わせ道路整備を
ることになる。
②土地区画整理事業の実施に向け準備
委員会で地権者説明をしている段階。
③準備委員会を支援し、山手幹線の早期
整備につなげていきたい。

質問3: 水害対策の排水ポンプ設備の増設は?

答弁: ①下狛ポンプ場のポンプ増設は、**財源確保
に努め、めどが立った段階で手続きを進
め、排水能力を高める。**

質問4: 受動喫煙対策の庁舎敷地内の禁煙 対策は?

答弁: ①H22年より庁舎内全面禁煙し、屋外に喫煙
専用室を設けている。
②H29年厚生労働省発表の受動喫煙
防止対策の強化の内容から、**現在の受動
喫煙対策を変更する考えはない。**



質問5: 賃借料などの経費削減を考慮した庁舎 4階の活用策は?

答弁: ①4階の利活用については、住民の公共活動
の場としての支援や、防災対策拠点としての
整備、執務スペースの活用など検討している。

傍 聴 席

- 1. 中学校給食**、議会で議決してすでに6年、財源確保で早くも平成31年は8年目の建設とか、新聞発表や選挙公約で若いお母さんに期待を抱かせたが、**本当はいつのことになるの?**
- 2. 連節バスの導入**に1台約9000万円で、奈良交通は国から半額補助(税金)で2台購入した。定員は一般バス83人に対し130人。(京都新聞) バス2台のほうが多く運べる。精華町は、駅前ロータリーの改修や、ガーデンシティ駐車場の改修に何千万円?税金を投入する。朝晩ラッシュ時に2~4台バスを増発すれば済むのに、だれが得するのか? 住民に何の説明もない。祝園西1丁目住宅内道路への抜け道車両の不安もある。全長18m通常バスより7m長い。朝夕のラッシュ時の試運転はされたか、不安は尽きない。安全の担保は何か? まだ調整中とのこと、**秋に見切り発車だけは避けてほしいものです。**
- 3. 議員報酬**、住民感覚からは信じれないアップ率。
議会は「議員報酬のアップを要求したのではない。議員報酬のあり方を検討し、町の要請で報酬審議会にかけた」と言い、
町長からは、「審議会からの答申を受け、議会を尊重した」とのこと。 **皆さんどう思います!**
各事業において、財政がないとの答弁の中での大盤ふるまい。
今後の議員の活動、大いに期待しましょう! 議会傍聴で一面が見れますよ!

(後援会員 H・M 記)